



早月小屋

平らな尾根が1ピッチ下ったところで確認できた

降り始めが崖のように感じる

ピークが確認できた

前のパーティーは迷い尾根へ進んだ

残雪期。10m先の視界はない。先頭の2人のパーティーは迷い尾根の方に進んでいった。私達は、2,614mピークを確認し、コンパスで方向を確認して正しいルートへ進んだ。

【経験談】

残雪期。視界は10m先が見えない。地図を見ながら慎重に下降していたので、2,614mピーク（小さく丸く尖った小ピーク）を確認することができた。

現在位置を特定できたので、尾根分岐からコンパスで早月小屋の方向を確認するも尾根分岐からの降り口が急で先が見えない。滑落の危険もある。視界のないホワイトアウトの雪面を下るのは危険だ。

ザイルを出して仲間に確保を依頼し、私はトップで下っていく。現在位置に自信を持っていたので、下降する方向に迷いはなかったがホワイトアウトなので慎重に下る。

1ピッチ下降したところで、ガスが一瞬切れ、進行方向が正しいと推測される目の前の平らな尾根が見えた。正しかった。

現在は、地図アプリで現在位置を確認することができるが、ホワイトアウトの進行方向を確認するのはコンパスしかない。コンパスを使えるようにしておきたい。